

入賞者一覧・受賞作品 作品集

主催

公益財団法人古紙再生促進センター

後援

文部科学省

全国連合小学校長会 全日本中学校長会

全国市町村教育委員会連合会

全国小中学校環境教育研究会

読売新聞社 全国製紙原料商工組合連合会

日本再生資源事業協同組合連合会

段ボールリサイクル協議会 日本製紙連合会



2023年度 入賞者一覧



文部科学大臣賞

福岡県 明治学園小学校 4年

作文部門

能美にな

動き出そう。その先へ。

ポスター部門

兵庫県 小林聖心女子学院中学校 3年

山縣 志帆

金賞

作文 東京都 町田市立小中一貫ゆくのき学園 大戸小学校 6年

太期 喬士

紙リサイクルについて考える

作文

小学生部門

愛知県 愛知教育大学附属岡崎中学校 3年

中学生部門

鈴木 歌純

我が家の紙リサイクル

ポスター

北海道 札幌市立資生館小学校 4年

小学生部門

縄 乃々香

未来で花さく 紙のたね

ポスター

兵庫県 加古川市立氷丘中学校 3年

中学生部門

太田楓

紙リサイクルのしくみ

特別金賞

全国製紙原料 商工組合連合会 理事長賞 福岡県 古賀市立古賀東小学校 1年

大嶋 陽葵

かみのまじっく! (ポスター)

日本再生資源事業 協同組合連合会 会長賞 福岡県 明治学園小学校 5年

野入 桃子

赤井

誰もが明日の紙リサイクル博士 (作文)

段ボール リサイクル協議会 会長賞 群馬県 前橋市立鎌倉中学校 2年

杏珠

紙リサイクルでぼくたちは 何度でも生まれ変われるんだ (ポスター)

	銀賞					
	部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	茨城県	開智望小学校	3	小礒 道允	紙のそつぎょうしきのお手つだい
	中学生部門	千葉県	麗澤中学・高等学校	1	伊藤 聡玖	世界中にリサイクルマンを
ポスター	小学生部門	埼玉県	坂戸市立桜小学校	3	徳田 愛子	古紙は新しくなってもどってくる!!
	中学生部門	愛知県	稲沢市立稲沢西中学校	3	服部 花奈	「紙」は捨てて良い?~ 紙資源リサイクルの可能性

6	銅賞					
	部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	千葉県	富里市立富里南小学校	1	髙橋 実来	しんぶんしはぐるぐるまわる
		福岡県	北九州市立北方小学校	3	廣田 琴美	私のちょう戦
		東京都	品川区立中延小学校 特別支援学級	5	若原 穂	紙って生き物
	中学生部門	岩手県	岩手県立一関第一高等学校附属中学校	1	千葉 夢乃	牛乳パックの行方
		東京都	世田谷区立三宿中学校	2	中間正	世界は資源でいっぱいだ
		山梨県	北杜市立甲陵中学校	3	若田 結良	私の家でできること
ポスター	小学生部門	千葉県	船橋市立中野木小学校	5	須山 柚葵	いつまでも続けよう 「行ってきます」と「久しぶり」
		神奈川県	関東学院小学校	5	馬場 蒼彩	古紙は捨てないでリサイクル
		愛知県	名古屋市立戸笠小学校	6	安江 茜里	アイデア次第で 楽しく"紙リサイクル"
	中学生部門	山口県	岩国市立岩国中学校	1	岡村 心美	発見!古紙の宝箱!
		山梨県	大月市立大月東中学校	2	天野 羽菜	つながり
		埼玉県	所沢市立狭山ヶ丘中学校	2	松本 奈津希	リサイクルでうまれ変わる

学校奨励賞

小学校部門

東京都

荒川区立第三日暮里小学校

中学校部門

広島県

広島市立二葉中学校

学校特別賞 今年度受賞校なし

応募総数: 3,261点

応募校数: 142校 教室、塾など: 13校 個人応募数: 53件

目 次

3-4P 文部科学大臣賞受賞作品

5-8P 金賞受賞作品

9-11P 特別金賞受賞作品

12-13P 銀賞受賞作品

14-19P 銅賞受賞作品

20P 学校奨励賞受賞校紹介

21P 審査会ノミネート校・教室一覧

22P 古紙再生促進センター活動紹介



文部科学大臣賞 作文部門

明治学園小学校 4年 能美 にな 動き出そう。その先へ。

『我が家だけではないはずだ。』初めて『雑がみ』という言葉を知ったのは四年前。リ知んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。取り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。取り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。取り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。取り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。即り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。即り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。即り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。即り組んだところ、家庭でみの量も半分ほどに減った。

がみという言葉自体を知らない人も多くいた。 は、段ボールや新聞紙をリサイクルしているだけで、行政回収を行っていない自治体だと分かった。市民の意識と行収を行っていない自治体だと分かった。市民の意識と行収を行っていない自治体だと分かった。市民の意識と行収を行っていない自治体だと分かった。すると、私域の雑がみリサイクルについて調べてみた。すると、私域の雑がみりかりをいう言葉自体を知らない人も多くいた。

だろうか。

は自分から。と同じだ。動き出そう。より良い未来を作るため、まずと同じだ。動き出そう。より良い未来を作るため、まず金になる事もある。身近な所からコツコツ、リサイクル知ること。次に行動。小さな行動が大きな動きの引き



文部科学大臣賞 ポスター部門

小林聖心女子学院中学校 3 年 山縣 志帆 紙資源 ~ おかえり『ただいま』~



作文小学生部門

金賞

町田市立小中一貫ゆくのき学園 大戸小学校 6年 紙リサイクルについて考える

紙を分別する作業は日常となっている。 の紙資源回収が行われている。必然的に僕の家では 僕の住んでいる地区では、毎週二回、市と子供会

家族みんな手慣れているので、今では何の苦もない から持ち帰ったプリントや父や母の仕事の書類の個 人情報を切り取って雑がみ入れに入れたりするのも お菓子などの入った箱を広げて解体したり、学校 しかし、時々厄介なものに出くわす。

その一、セロハン窓付きの封筒

された厚紙や段ボール。 その二、梱包の際に透明テープでぐるぐる巻きに

その四、一見紙に見えて紙ではないシート その三、フィルムでコーティングされた紙

材のダイレクトメールや化粧品などに多く、手では もあり、迷った時は、大人に聞くようにしている。 キレイにはがすことができず、ゴミとして出さざる 破れないほど丈夫だが、このままではリサイクルで そんなに巻く必要がどこにあるのか。三は、教育教 未だにセロハン窓を使うのはナンセンスだと思う。 を得なかった。四に関しては見分けがつかないこと きないため、何度か全てはがしてやろうと試みたが してはすでに分別不要な窓封筒が流通しているのに 二は海外から送られてくるものに多いが、そもそも 一と二は、はがすのがとても面倒くさい。一に関

と思う。 で適正に選んで製品にするかに問題があると考える の未来を考えると、国や自治体、企業を含めた社会 として使用しなければ、全く効率が良くない。地球 コストや見栄えも大事だろうが、リサイクルを前提 以前に、紙を使う側、つまりどんな紙をどんな用途 全体で協力し合い、しっかり取り組むことが大切だ などで地道に行うものと思われがちだが、僕はそれ リサイクルへの取り組みは、各家庭や学校、職場

いと思う。 うなのかというところはこれから僕も勉強してみた 意見も目にしたことがある。これが実際のところど 化炭素の排出量の観点から、リサイクルに否定的な 紙を再生するために使用する水の量や薬品、二酸

かじっくり考えてみようと思う。 意識を持続可能なものにするために僕に何ができる はまだまだたくさんあるように思える。一人一人の ることがある。それらを見ると僕たちにできること を、一緒くたに紙袋に押し込んで出されたりしてい にひもで束ねるべき段ボール、雑がみ、牛乳パック れたピザの箱や、洗剤の箱が出されていたり、別々 てはいけないとされているひどく油がしみこみよご 資源回収置き場に集められた古紙を見ると、出し

作文中学生部門

金賞

愛知教育大学附属岡崎中学校 3年 鈴木 歌純 我が家の紙リサイクル

に配布された、お試し雑がみ分別用袋です。慣れない紙袋が我が家に来ました。私の住む市で新た情れない紙袋が我が家に来ました。私の住む市で新た「雑紙は、燃やすごみじゃないよ」と書かれた、見

今までそのまま畳んで雑がみとしていましたが、テー ないと思わされました。贈り物の包装紙や書店の紙袋 ていることについて、持続可能な社会づくりが出来て することの少なかった身の回りの紙について考える きたトイレットペーパーの芯や遊んだ後の折り紙も雑 れ変われないのです。雑がみに出すことをためらって 出すのが正解です。日々沢山たまるレシートは雑がみ ごみになります。上記を剥がした後、畳んで雑がみに れ変わる予定だった資源が、燃えるごみとして出され とするものが書いてあるからです。また、本当は生ま は子どもでも分かるようにイラスト付きで「雑がみ きっかけとなりました。何故なら、雑がみ分別用袋に には、手紙や葉書、段ボールに入った荷物が届きます。 す。学校では、プリントや教科書、ノートなど。自宅 朝、新聞を読んだり、牛乳やパック入りジュースを飲 にはなりません。特殊な加工がされているため、生ま ブやシールなどのプラスチック製品や粘着物は燃やす んだりします。新聞には、沢山の広告も挟まっていま 雑がみ分別用袋が配布されたことで、今までは気に 私たちの生活は、紙ととても密接に関わっています。

がみです。

一回送り届けるようになりました。ホールなのかを調べ、リサイクルステーションへ週にそんな点に注意し、市のサイトで雑がみなのか、段

燃えるごみは減りました。代わりに古紙としてリサイ 嬉しいです きます。同じように袋に入れるのなら、リサイクルス やプラスチック容器包装のものが沢山入っていると聞 考え方かもしれませんが、燃えるごみの袋の中には紙 再生紙使用マークやグリーンマークを探して、それら そして、トイレットペーパーなどを購入するときには 要なものであるならば、普段の生活の中に当たり前な ました。私たちにとって、紙が身近なものであり、必 クルステーションへ行く、生まれ変われる紙類は増え 無い時もありました。紙の分別生活をし始めてからは が圧倒的に多かったです。雑がみは少なく、ほとんど なら二週か月に一回持って行く同志が増えてくれれば テーション行きの袋か箱を一つ作り、週に一回が大変 を積極的に選びたいと私は思います。個人のモラルや こととして古紙の分別をし、ステーションへ届ける。 新聞紙と同じくらいステーションへ送り届けました。 あの雑がみ分別用袋との出会いで、我が家から出る 今までは古紙としてステーションへ行くのは新聞紙

ポスター小学生部門

金賞

札幌市立資生館小学校 4年 縄 乃々香 未来で花さく 紙のたね



ポスター中学生部門



加古川市立氷丘中学校 3年 太田 楓 紙リサイクルのしくみ



全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞

特別金賞

古賀市立古賀東小学校 1年 大嶋 陽葵 かみのまじっく!



日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞

特別金賞

結構混じっていた。深呼吸した後、私は腕まくりをおいたいる。私の通う学校でも「雑紙リサイクルチャンジ」を始めた。紙リサイクルの中でも雑紙回収レンジ」を始めた。紙リサイクルの中でも雑紙回収レンジ」を始めた。紙リサイクルの中でも雑紙回収払の住む北九州市は市全体で紙リサイクルに取り私の住む北九州市は市全体で紙リサイクルに取り

リサイクル出来るでしょうか?」「…でき…る!」これらは全て紙リサイクルが出来ない。「これは紙プリント写真、カーボン紙、シールとその台紙。

して気合を入れた。「一回、全部出して分別しなお

残念!出来ませーん!」

に立つ。そのことがなによりもうれしかった。学んできたことがみんなの役に立ったのだ。誰かの役けイクル博士だね。」友達の言葉がうれしかった。私がは、変だったけれど楽しかった。クラスのみんなとクは大変だったけれど楽しかった。クラスのみんなとクは大変だったけれど楽しかった。

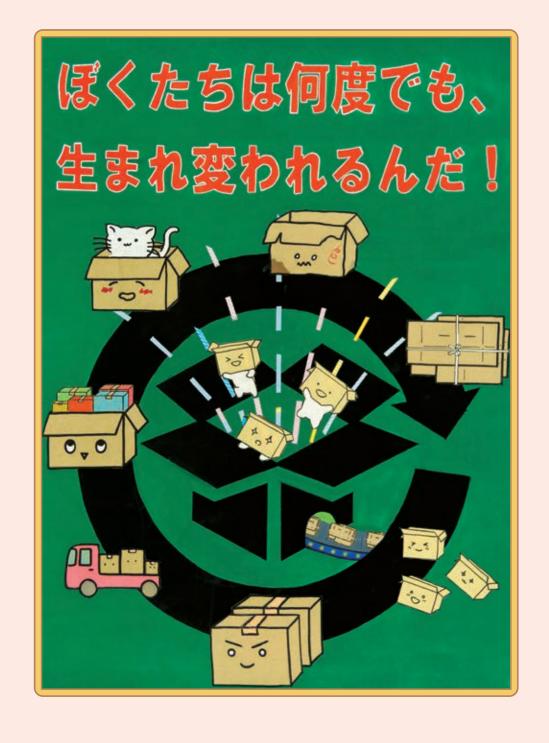
る。本気でそう思った。 私が紙リサイクルに興味を持ったのは、古紙回収の 私が紙リサイクルに興味を持ったのは、古紙回収の 私が紙リサイクルに興味を持ったのは、古紙回収の

こう!「誰もが明日の紙リサイクル博士」を目指して。の紙がリサイクルされ、より多くの資源が守られる。 いやりのある行動は人を守る。 資源を守る。 れのきっかけは母を思いやる行動からだったけれど、思いやりのある行動は人を守る。 資源を守る。 地球を思いやるである。 私達は誰もが「紙リサイクル博士」になれる。 だから、まずは知ることから始めよう!「正しい知識で正しい分別」を合言葉にみんなで活動をしてゆ知識で正しい分別」を合言葉にみんなで活動をしてゆ知識で正しい分別」を合言葉にみんなで活動をしてゆ知識で正しい分別」を合言葉にみんなで活動をしてゆ知識で正しい分別」を合言葉にみんなで活動をしてゆ知識で正しい分別」を合言葉にみんなで活動をしてゆ知識で正しい分別」を含ませい。

段ボールリサイクル協議会 会長賞

特別金賞

前橋市立鎌倉中学校 2年 赤井 杏珠 紙リサイクルでぼくたちは 何度でも生まれ変われるんだ





小礒 道允 開智望小学校 3年 紙のそつぎょうしきのお手つだい

ぼくはお母さんが捨てている紙が少しかわいそうに思えたので、ゴミ グチャグチャ、ぽいっ、とお母さんはいつも紙をゴミ箱にすぐ捨てて

箱をのぞいてみた。画用紙やお菓子のつつみ紙やシールの台紙などが

思っていたよりもたくさんの紙がリサイクルできることを知ってすご 段ボールだけでなく、菓子箱や封筒、トイレットペーパーやラップの だから、ぼくはゴミ箱にどのくらいリサイクル工場に行ける紙が入って けたら、そこでそつぎょうしきを堂々とできるのではないかと思った。 うしきをしているというお話だ。もしこの紙たちがリサイクル工場に行 は回収日が少なくて、家の中にためておくのが不便だから。 大変だから。どれがリサイクルできるのか分かりづらいのだ。二つ目 理由を思いついた。一つ目は、リサイクルできる紙を仕分けするのが クルはできるのに、リサイクルしている人は少ないと残念に思った。 回収場所に行ってみたら、紙資源は少なくて、本当はこんなにリサイ いなと思ったからだ。でもじっさいにお父さんといっしょに紙資源の しんまでも集めてくれるとは知らなかったので、ぼくはびっくりした。 かったので、調べてみるひつようがあった。ぼくがくらす市では、リサ はゴミ箱にぽいっと捨てられる。しかし、消しゴムはひっそりとそつぎょ イクルできそうな紙は全て集めてくれることが分かった。新聞や雑誌、 いるのか気になった。しかし、どの紙がリサイクルできるのか分からな ぼくはけしごむくんという絵本を思い出した。小さくなった消しゴム そこで、紙資源を分ける人がなぜ少ないのかを考えてみた。二つの

どの回収をしている事を学んだ。 資源を出せる場所を増やすことだ。学校やスーパーなどで段ボールな そこで、ぼくが思いついた解決さくは、いつでもリサイクル可能な

がよいと思う。一度入れたら、回収の人しか出せないようにすれば、安心 所なども書いてあるものがあるので、雑紙の回収箱はポストのような形 まで家のなかでかさばらないといういいこともある。雑紙は名前や住 ふえると思う。また、いつでも入れられるような場所を作れば、回収日 みんなにわかりやすく知ってもらえると思う。そして回収できるものが クルコーナーには、入れていいものを大きな文字と絵であらわすと、 して出せると思うからだ。大事な資源を増やす工夫だ。 レットペーパーのしんなどを増やす事ができたら良いと思った。リサイ しかも出せば少しですが、ポイントが付くそうだ。ここに雑紙やトイ

作文 中学生部門

を考えていきたい。一枚でも多くの紙がそつぎょうしきをむかえられる サイクルしやすい仕組みを作ることが大切なので、これからもその方法

紙資源を大切にするには、みんなの協力が必要だ。そのためには、リ

聡玖 伊藤 麗澤中学・高等学校 1年 世界中にリサイクルマンを

いつもの父ではなくなってしまうのです。 は優しく面白い父ですが、一度捨てるマンスイッチが入ってしまうと 私の家には何でも捨てるマンがいます。その正体は父です。 いつも

その紙をゴミ箱に捨てないのです。私がなぜ捨てないのか聞くと、父は 紙を全て持ち去っていきます。全てゴミ箱行きか……と思いきや、父は マンは仮の姿、父の本当の姿はリサイクルマンだったのです! たらかしにしている時、捨てるマンスイッチオン!父は机の上にあった 「紙リサイクルをするからだよ。」と教えてくれました。何でも捨てる 例えば私が学校からもらった紙をそのまま出して机の上に置き、ほっ

くなりました。私は父に聞いたり、ネットで調べたりしました。 調べた中で、とても驚いたことがあります。それは、墨がついた紙 そのできごとは当時の私には衝撃で、紙リサイクルについて知りた

は紙リサイクルの大切さを学びました。 することなくリサイクルできると思います。調べたことを通じて、 面倒かもしれないけれど、それを積み重ねていくことで資源を無駄に 資源は紙リサイクルできないということです。一回一回分別するのは

サイクルしていないことが残念だと感じたのです。 もありました。私がそう思えたのは、私が成長できたからです。今ま での私なら何も思わずにスルーしていたと思うのに、その時の私はリ かともったいなく思いました。しかし、私の中には少し嬉しい気持ち 捨てられていました。私は、なぜ資源なのに、捨ててしまうのだろう は大きなゴミ袋の山がありました。その中にはダンボールや新聞紙が 私はある日、紙資源を回収所に出しに行きました。すると、そこに

見ていてくれたのだなとほっとした気持ちもありました。 てありました。その時、私はつい嬉しくて、思わずガッツポーズをし て、幸せな気持ちでいっぱいでした。また、周りの人たちもしっかり てしまいました。自分の活動に成果が出て、さらに環境にも貢献でき に回収所に行きました。そこにはたくさんの重ねられた紙資源が置い そこで私は、町の掲示板にポスターを貼って地域に発信しました。 活動を始めてから一ヶ月後、私は効果があったのかを確認するため 私はどうやったら紙リサイクルしてくれる人が増えるか考えました

世界中の人々がリサイクルマンになれるように日々発信していきます。 とてもいい経験ができました。これからも私は紙リサイクルを続け、 ことができ、周りの人もそれを見ていて協力することができたという、 このように私は、普段の何気ない思いから行動して環境に貢献する



坂戸市立桜小学校 3年 徳田 愛子 古紙は新しくなってもどってくる!!





稲沢市立稲沢西中学校 3年 服部 花奈 「紙」は捨てて良い?〜紙資源リサイクルの可能性





るぐるをつづけていこうとおもいます。

つなことです。これからもリサイクルをして、しんぶんしのぐ

ぶんしがぐるぐるまわっているみたいです。リサイクルは、わなんだかリサイクルすることで、わたしを中しんにして、しん

たしのため、かぞくのため、みんなのためになるとてもたいせ

ります。つかいおわったかみをしげんにして、またあたらしい

リサイクルをすることで、つかいおわったかみはしげんにな

かみがつくられます。そしてそれは、くりかえされています。

富里市立富里南小学校 1年 髙橋 実来 しんぶんしはぐるぐるまわる

うになるということです。しげんとは、ものをつくるざいりょつくる」ことだそうです。しげんとは、ものをつくるざいりょかったものをかいしゅうしてしげんにして、あたらしいものを「リサイクル」ということばをきいたことがあります。「つ

がっこうで、かみリサイクルについてべんきょうしました。つかったかみをそのまますててしまうとゴミになってしまうけれど、しゅるいごとにわけてあつめると、あたらしいかみをつけんぶんしがどうなるのかは、しりませんでした。あつめたしんぶんしがどうなるのかは、しりませんでした。あつめたしんぶんしは、こしどんやにあつめています。でも、出したあとしんぶんしは、こしどんやにあつめたあと、かみをつくるこうじょうにはこばれます。こうじょうでしんぶんしは、こしどんやにあつめたあと、かみをつくるこうにはっています。こうじょうでしんぶんしは、こしどんやにあつめたあと、かみをつくるこうにようにはこばれます。こうじょうでしんぶんしは、こしどんやにあつめたあと、かみをつくるこうにようにはこばれます。できあがったしんぶんは、またわたしのいえにはいたつされます。「リサイクルって、そういうことか。」とおもいました。

作文》 小学生部門 銅賞

北九州市立北方小学校 3年 廣田 琴美 **私のちょう戦**

まりだった。て行っていたので、何となく聞いてみたのが私のリサイクル物語の始て行っていたので、何となく聞いてみたのが私のリサイクル物語の始はなかった。ある日、母が洗った牛乳パックを何枚かスーパーに持っ「リサイクル」という言葉は知っていたけど今まで特に気にした事

「えっ。」私がびっくりしていると母が、「リサイクルするんよ。牛乳パックはトイレットペーパーになるよ。」「それ何でいつも捨てんでスーパーに持っていくん。」と聞くと、母は、

とうしたのを母に知らせると火を消しながらに入れて牛乳パックがひたるくらいに水を注いで火をつけた。水が沸まった。ハサミを使う事は好きなのですぐに切り終えた。それを鍋まずは牛乳パックを5センチ角くらいに全て切り取る作業から始たので数枚あった牛乳パックを一枚だけ自宅に持ち帰る事にした。「じゃあ、一つ持って帰ってこれをはがきにしてみる?」と母が言っ

「じゃあ続きは明日ね。」と言われた。

で続きはまた明日、となった。 「えっ。」今すぐはがきになると思っていたので何だか拍子抜けした。 かった。何度もやりなおして何とか取れたはがきはびしょびしょなのすみずみに流しこんで平らにして取り出したけどこの作業が一番難しているのを確認して、母と一緒にフィルムはがしをした。何だかお店でいるのを確認して、母と一緒にフィルムはがしをした。何だかお店が一番取り出してフィルムを取った。すると母は、たなの中からミキサーを取り出してフィルムを取った。すると母は、たなの中からミキサーを取り出してフィルムを取った。すると母は、たなの中からミキサーを取り出してフィルムを取った。すると母は、たなの中からミキサーを取り出して、母と一緒にフィルムはがしをした。何だかお店で続きはまた明日、となった。

「ひらく」のではおいまでは、これであっていたよりゴワゴワにはがき。それをみた母は、イロンをかけた。出来上がったのは何だか思っていたよりゴワゴワな次の日、いよいよ仕上げだ。やけどに気をつけながらていねいにア

よ。」と言うと、「わあ、りっぱなはがきができたね。」と言ったので「でもゴワゴワだ

- 自分でリナイフレこうよう伐してこり本食よ、ことらいさい事なりど。私はそれを聞いて何だかほこらしい気持ちになった。「自分でリサイクルできたしょうこやね。」と言った。そうか、なるほ

さんで机の引き出しの中にしまってある。 このたった一枚の手作りはがきは今も大切にクリアファイルには近に感じる事ができた体験になった。 かもしれないけど、私にとって「リサイクル」という物事がとても身かもしれないけど、私にとって「リサイクル」という物事がとても身合がでリサイクルにちょう戦したこの体験は、とても小さい事なの

さあだれに、お手紙書こうかな。

14



です。とてもわくわくしています。

作文*

中学生部門 銅賞

若原 品川区立中延小学校 特別支援学級 穂 5年 紙って生き物

「なんだ、これ?」

の小さな点があることをはっ見しました。お父さんが それはリサイクルだよ。」 私は、トイレットペーパーをよく見ると赤や青や緑

と教えてくれました。

ペ | パ クル パックが工場で、どろどろにとけたあとトイレット がすっきりしました 小さな点は、 もっと、知りたくなって図書かんに行き、『リサイ の本を借りてきて読んでみました。 ーに生まれ変わることが分かりました。 牛にゅうパックのインクだと分かり頭 牛にゅう 色

牛にゅうパックがどろどろになるところにきょうみ るところが見つかりました。さっそく、 あります。 変わるなんてまるで生き物のようだと思いました。 ほして資げん回収に出しています。 たちが生まれ変わるところを見てみたいです。 もっと、 そういえば、 調べてみたくなりました。 インターネットでさがしたら工場見学でき お母さんは牛にゅうパックをあらって 紙が何度も生ま じっさいに、 申し込みたい 特に 古 が れ

夢乃

千葉 岩手県立一関第一高等学校附属中学校 1年 牛乳パックの行方

ろが、時々牛乳パックが燃えるゴミに混ざっていることがあります。お 燃えるゴミというように分けて捨てます。牛乳パックはお弁当の時間が 持ち、調べてみました。 とき私は、学校で集められた牛乳パックはどうなるのだろうかと興味を 私はそれを見ても特に気にすることなく、ゴミを出していました。 そらく、お弁当の時間に牛乳を飲みきれなかった人が捨てたのでしょう。 終わったら、コピー用紙と燃えるゴミは掃除のときに回収します。とこ 私の学校では、ゴミを捨てるときにコピー用紙、牛乳パック、

アコン七〇時間分の電力を節約することができます。 ク二〇個でトイレットペーパー一ロール、三個でエアコン一時間分の二 ど、大量の資源がただ焼却されるのはとてももったいないと思いました と自体が廃棄物処理法に反するのではないかとの指摘を受け、 が大きいと判断し、生徒が家に持ち帰ってリサイクルする方針を打ち出 パックは学校で処理することとなりました。ところが、学校で牛乳パッ 削減することができるはずです。 リサイクルが全国の学校で行われれば、 酸化炭素を削減することができるのです。私の学校の全校生徒数は二 ため、牛乳パックのリサイクルができないという学校もあるようです。 分を選択したようです。他にも、コロナウイルスの感染リスクが高まる していました。ですが、保護者の反対運動や、そもそも家に持ち帰るこ のある学校では、校内での洗浄はアレルギーを持つ生徒にとってリスク パックは学校が処理すべきだ、という意見が出ました。そのため、牛乳 業活動で生じた廃棄物は事業者が処理することになっていたため、牛乳 していたようです。しかし、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で、事 み終わった後に洗って開き、乾かしたら牛乳業者へ返却し、リサイクル クなど色々なものに生まれ変わります。二〇〇ミリリットルの牛乳パッ 牛乳パックも、リサイクルすることで、トイレットペーパーや牛乳パッ クをリサイクルするのは意外にも大変だったようです。例えば東京都内 ○人なので、一日にトイレットペーパー一○・五ロールを作り、エ 私はこの結果を見て、学校で処理するのが難しいことは分かったけれ 地域や学校によって違いがありますが、牛乳パックは元々、生徒が飲 多くのエネルギーやごみを 焼却処

るようになってほしいです。 環境保全のためにも、牛乳パックのリサイクルが全国に普及され



な資源だ。

紙は資源だ。僕たちと一緒に未来へと繋がる、持続可能な大切

世田谷区立三宿中学校 2年 中間 正 世界は資源でいっぱいだ

爆発的に増えた。僕の家でも、毎週のようにリサイクルの資源い、事業が飛躍的に拡大したことで、段ボールなどは消費量がや雑誌などの紙媒体が減る一方で、ECサイトの利用増加に伴の物がリサイクルされている。
世界はリサイクルであふれている。僕らの身の回りでは沢山世界はリサイクルであふれている。

と使う責任の目標達成にも大きく関係してくると思う。標のひとつである資源の有効活用になると考えていて、作る責任とに繋がっていくのだと思う。それこそが、SDGSのゴール目的に利用することが、僕たちの現在と未来の社会を守っていくこ的に利用することが、僕たちの現在と未来の社会を守っていくことは資源だ。再生可能なとても大切な資源だ。日常生活で欠か紙は資源だ。再生可能なとても大切な資源だ。日常生活で欠か

の中でも段ボールが以前に比べて明らかに量が増えている。回収日に収集場所に出しているが、収集場所に集められる古紙

と意識していきたい。
お意識していきたい。
に意識していきたい。
に意識していきに心がけているし、買い物に行く時も今以上にもっので、古紙を原料にしていることが分かるマークが付いている製極的に利用していかないとリサイクルの意義がなくなってしまうまた、せっかく回収・リサイクルしても、再生された製品を積また、せっかく回収・リサイクルしても、再生された製品を積

そ、僕たちの大事な社会をより良くすることに繋げていける。も小さな取り組みだ。だが、その取り組みを続けていくことこレットペーパーや、ノートや、段ボールを購入することも、どれる紙類も、地域で回収した古紙をリサイクルして作られたトイクルボックスも、日頃から家族で分別して資源収集日に出してい僕の学校で取り組んでいる使用済みの紙を入れる古紙リサイ

一丸となって取り組んでいけたらいいな、とも思う。すごい取り組みや古紙再生の技術が世界に広まって、世界中がいう。さらに、古紙は海外にも輸出されていると知り、日本の実現できるし、より良い未来に繋げていける。日本の古紙回収実現できるし、より良い未来に繋げていける。日本の古紙回収出会に暮らす僕たち一人一人が、紙に対する意識をもっと高社会に暮らす僕たち一人一人が、紙に対する意識をもっと高

北杜市立甲陵中学校 3年 若田 結良 私の家でできること



を持てなければならない時、私はいつか捨てることになる。 い二番目に多かったのが紙類のゴミだったので意外だった。だが、 と考えてみるとその理由が分かった。主な原因は三つ。一つ目は ティッシュだ。私はよく鼻水が出るのでディッシュを使う。また、 まく考えてみるとその理由が分かった。主な原因は三つ。一つ目は ディッシュは机の汚れをふきとるのに便利で使いすぎてしまうの だいが大量に残ってしまう。三つ目はプリント類だ。私の学校かだけが大量に残ってしまう。三つ目はプリント類だ。私の学校かだけが大量に残ってしまう。三つ目はプリント類だ。私の学校からはよくお便りのプリントが配られる。いらなくなったプリントを捨てなければならない時、私はいつも思う。もったいないなと。 し二番目に多かったのが紙類のゴミだったので意外だった。だが、 もに学校のお便りやチラシは一回で何十枚、何百枚も同じものを がいが大量に残ってしまう。三つ目はプリント類だ。私の学校か がい大量に残ってしまう。三つ目はプリント類だ。私の学校か がい大量に残ってしまう。三つ目はプリント類だ。私の学校か がい大量に残ってしまう。三つ目はプリント類だ。私の学校か が、カートのでは、からなくなったプリント がい、カートのでは、からなくなったプリント がい、からなくなったプリント が、カートのでは、からなくなった。一番多かっ といるでは、からなくなった。一番多かっ といるでは、からなくなった。一番多かっ といるでは、からなくなった。一番多かっ といるでは、からなくなった。一番多かっ といるでは、からなくなった。

うことになった。

ではこのような「もったいない紙」たちをどうにかできないのような「もったいない紙」たちをどうになった。そこで、牛乳を買う時はリサイクルできるパッなんな面倒くさがりだが、少しずつ、みんなで協力してやってみみんな面倒くさがりだが、少しずつ、みんなで協力してやってみらなくなった紙である古紙もリサイクルできるのだ。私の家族はらなではでいたがである古紙もリサイクルできるのだ。私の家族はらなどなった。それを認定した。それを記述します。

一層深まった気がして嬉しかった。なった。また、今回の活動を始めたことによって家族の絆がよりていた。私は何だかいいことをしたように思えて清々しい気分にミ箱の中のチェックをした。すると紙類のゴミの量が劇的に減っ「リサイクル」の活動を始めてから早一ヶ月。私はもう一度ゴ

るリサイクル活動を始めてみてほしい。や意味を理解することが大切だ。少しずつでもいい。自分ができまずは一人一人がリサイクルに興味を持ち、リサイクルの仕組みイクルをしてみんなで地球の自然環境を守りたいが、そのためによると世界全体の平均リサイクル率は一五%程度だそうだ。リサい。しかし、国際連合環境計画が二〇一五年に発表した報告書に私は国中、いや世界中の人にリサイクル活動をしてもらいた



船橋市立中野木小学校 5年 須山 柚葵 いつまでも続けよう「行ってきます」と「久しぶり」





関東学院小学校 5年 馬場 蒼彩 古紙は捨てないでリサイクル





名古屋市立戸笠小学校 6年 安江 茜里 アイデア次第で楽しく"紙リサイクル"





岩国市立岩国中学校 1年 岡村 心美 発見! 古紙の宝箱!





大月市立大月東中学校 2年 天野 羽菜 つながり





所沢市立狭山ヶ丘中学校 2年 松本 奈津希 リサイクルでうまれ変わる





学校奨励賞 小学校部門

東京都 荒川区立第三日暮里小学校

2023 年度 応募作品数 273 点 (作文 77 点、ポスター 196 点)

学校紹介

本校は、大正7年4月開校の今年度105周年を迎える学校です。開校当時着任した中村雨紅先生が作詞し発表された「夕焼け小焼け」は、本校の第二校歌として今でも歌い継がれており、地元の方からは「ゆうやけこやけの学校」として親しまれています。紙のリサイクルを大切に考え、各教室や職員室など校内各所で分別に力を入れて取り組んでいます。学校図書館活用教育にも長年取り組んでおり、読書に親しみ・図書を活用して学びを深める子どもたちを育んでいます。



【沿革】 大正7(1918)年4月 開校 児童数 408名

学級数 14学級



学校奨励賞 中学校部門

広島県

広島市立二葉中学校



学校紹介

本校は、昭和26年に創立され、二葉山の南に広がる 豊かな自然と由緒ある歴史的環境の中、輝かしい歴史と 伝統をもった学校です。地域清掃(クリーンマイタウン 二葉)、地域緑化活動等のボランティア活動や地域によ る学習支援活動が認められ平成28年度「地域学校協働 活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。これらの活動は今でも行われ本校の伝統としてなっており、 子どもたち一人一人の健やかな成長につながっています。



【沿革】

昭和 26 (1951) 年 4 月 開校

生徒数703名学級数28学級

【応募学校数】小学校:36校 中学校:106校 総数:142校

審査会ノミネート校・教室一覧

審査会にノミネートされた作品の応募校名・教室名一覧です。

作文小学生部門

茨城県 開智望小学校

千葉県 富里市立富里南小学校

東京都 荒川区立第三日暮里小学校

品川区立中延小学校

杉並区立高井戸小学校

町田市立小中一貫ゆくのき学園 大戸小学校

静岡県 静岡サレジオ小学校

三重県 てら小屋遊学舎

滋賀県 長浜市立びわ南小学校

大阪府 貝塚市立二色小学校

関西創価小学校

香川県 高松市立栗林小学校

福岡県 北九州市立北方小学校

明治学園小学校

作文中学生部門

岩手県 岩手県立一関第一高等学校附属中学校

埼玉県 行田市立長野中学校

戸田市立喜沢中学校

千葉県 専修大学松戸中学校・高等学校

麗澤中学・高等学校

東京都新宿区西早稲田中学校

世田谷区立三宿中学校

神奈川県 川崎市立塚越中学校

山梨県 北杜市立甲陵中学校

静岡県静岡市立清水第五中学校

愛知県 愛知教育大学附属岡崎中学校

和歌山県 近畿大学附属和歌山高等学校・中学校

岡山県 蒼明学院中等部

ポスター小学生部門

北海道 札幌市立資生館小学校

埼玉県 坂戸市立桜小学校

絵画教室 アトリエ クンストハウス

千葉県 千葉市立検見川小学校

流山市立おおたかの森小学校

船橋市立中野木小学校

よつば絵画

東京都 荒川区立第三日暮里小学校

神奈川県 神奈川学園精華小学校

関東学院小学校

いずみ野画室

静岡県 静岡サレジオ小学校

愛知県 名古屋市立戸笠小学校

西村アート塾

大阪府 茨木市立大池小学校

大阪市立諏訪小学校

兵庫県 加古川市立平岡東小学校

山口県 山口大学教育学部附属光小学校

福岡県 古賀市立古賀東小学校

ポスター中学生部門

宮城県 紫山こども絵画造形教室

福島県棚倉町立棚倉中学校

群馬県前橋市立鎌倉中学校

埼玉県 所沢市立狭山ヶ丘中学校

東京都日の出町立平井中学校

神奈川県 横浜市立港南台第一中学校

山梨県 大月市立大月東中学校

愛知県 稲沢市立稲沢西中学校

刈谷市立依佐美中学校

大阪府 大阪市立都島中学校

堺市立長尾中学校

兵庫県 小林聖心女子学院中学校

加古川市立氷丘中学校

神戸市立鷹匠中学校

岡山県 玉野市立宇野中学校

広島県 広島市立二葉中学校

山口県 岩国市立岩国中学校

佐賀県 佐賀県立武雄青陵中学校

※都道府県別・五十音順。団体・個人応募問わず。

公益財団法人古紙再生促進センターの活動

当センターは、小中学生を対象にした紙リサイクルに 関する以下の取組みを行っています。 環境教育の1つとして是非ご活用ください。

紙リサイクル促進大使 「カミリィ」 ちゃんと 「カミリィママ」



全国小中学生"紙リサイクル"コンテスト

毎年度、全国の小中学生に"紙リサイクル"に関する作文、ポスター作品の 募集を行い、応募作品の中から優秀作品を選定し、受賞者を表彰しています。



第15回目となった 2023 年度は 3,261 点の応募が ありました



【コンテストの内容】

募集対象

全国の小学生・中学生ならどなたでも

- **テーマ・紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア**
 - ・紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり

作文(小学生部門、中学生部門) ポスター(小学生部門、中学生部門)

スケジュール

例年 5~6月 募集開始、秋頃締切

*来年度の募集開始・応募締切は、新型コロナウイルスの状況 より判断し、当センターホームページ等にてお知らせします。

賞と賞品

文部科学大臣賞 作文部門 1点、ポスター部門 1点 (賞状・楯・副賞図書カード5万円)

金賞 各部門 1点(賞状・楯・副賞図書カード3万円)

特別金賞 3点(賞状・楯・副賞図書カード3万円)

銀賞 各部門 1点(賞状・楯・副賞図書カード1万円)

銅賞 12点(賞状・副賞図書カード2千円)

学校特別賞 2 校以内(賞状・副賞ギフトカード 5万円)

学校奨励賞 2校(賞状・副賞ギフトカード2万円)

参加賞(応募者全員に記念品)

2023年度 応募数

応募点数	小学生	中学生	合計
作文部門	225	550	775
ポスター部門	760	1,726	2,486
合計	985	2,276	3,261

応募件数	小学校	中学校	合計
応募学校数	36	106	142
教室、塾など	13		
個人応募数	53	総件数	208

オンライン"紙リサイクル出前授業

全国の学校を対象に 授業を実施します





講義風景(オンライン)



アニメ動画



手すきはがきづくり

紙リサイクルの大切さについて理解を深めてもら うことを目的に、主に小学生を対象に出前授業を 行っています。コロナ禍に対応して、オンライン での出前授業を開始しました。

なお、訪問型の出前授業も実施しています。

【出前授業の内容】

① 講義(45分)

O×クイズやアニメ動画の視聴、パルプの実物見本 の観察などを通して紙リサイクルについて学びます。

② 手すきはがきづくり(45分)

児童全員に古紙からハガキを作る体験をしてもらい、 紙リサイクルのプロセスについて学びます。

*上記以外のパターンにも対応可能です

- ※出前授業の実施に伴う費用は一切かかりません。
- ※訪問型の場合、地域によっては講師を確保できない場合が あることをご了承願います。

全国小中学生 "紙リサイクル" コンテスト 2023 入賞者一覧・受賞作品 作品集

企画・発行

公益財団法人古紙再生促進センター

http://www.prpc.or.jp/

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4F

TEL: 03-3537-6822 FAX: 03-3537-6823

本作品集はこちらからもご覧いただけます。

http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/award/





古紙再生促進センターは2024年に創立50周年を迎えます